

新潟への誇りと愛着の醸成について

新潟への誇りと愛着を醸成するための方向性について

○新潟への誇りと愛着を醸成に関する創生会議委員意見を集約

新潟の良さを知る機会



- ・学校教育を通じて子どもたちに新潟の良さを伝える
- ・デジタルツール等を活用した伝える仕組みづくり
- ・市外の方に向けて新潟の情報を定期的に発信する

新潟の良さに触れる
機会の増加

新潟での生活基盤を充実する取り組み



- ・若者や高齢者の就業の場の創出（雇用創出）
- ・新潟を良くしようと活動する人たちへの協力
- ・産業活性化に関する取り組み

新潟での生活基盤を充実

新潟での交流や体験の機会



- ・地域のまつりやイベント
- ・地場産業や職人技法の体験プログラム
- ・高校生や大学生等の地域課題や関心への取り組み

交流や体験を通じた
機会の提供

取り組みの方向性

○新潟への誇りと愛着を醸成するためには、若い世代を中心として「新潟の良さに触れる機会の増加」、「新潟での生活基盤の充実」、「交流や体験を通じた機会の提供」を推進すべきとの意見。

そのためには、産官学金労言士のオール新潟それぞれの立場で、できることから展開していくことが必要。

⇒・共通の「ツール」を使った運動化を展開していきたい

- ・国の第2期総合戦略において「地方創生SDGs_※の推進」が掲げられたことを踏まえ、本市の第2期総合戦略にも方向性を明記していることから、SDGsに絡めてはどうか。

※「Sustainable Development Goals(持続可能な開発目標)」の略称で、2015年9月の国連サミットで採択された、2030年までの国際社会共通の目標

新潟への誇りと愛着を醸成するための取り組み（案）について

○本市のSDGs推進の現状について

本市の取り組みの着実に推進することが、SDGs達成につながることから、第2期総合戦略においても、SDGsの理念や目標に向かい取り組みを推進



他の地方公共団体、民間企業等の事例について

○オリジナルロゴについて

他の地方公共団体では、SDGsの17の目標を普及啓発する目的でオリジナルロゴを作成し、企業の登録制度や承認申請することで、広く使用してもらうような動きも進んでいる。

○オリジナルアイコンについて

SDGsの17の目標に加えて、独自の「18番目の目標」を掲げている民間企業や国もみられる。なお、地方公共団体で事例は見当たらない。

◆オリジナルロゴ、アイコン例



※ロゴ、アイコンの変更（マーク、色、文言、正方形）は認められていないが、独自のロゴ、アイコンを作成することは認められている。

○オール新潟の目標設定と取り組み（案）について



<18番目の目標を設定してはどうか>

SDGsの17の目標に加え、新潟への誇りと愛着を醸成し、それぞれが魅力発信することで『選ばれる都市』につながることから、オール新潟で取り組む「18番目の目標」を検討。
⇒オール新潟で「地域に貢献できる取り組み」にそれぞれ共通のアイコンを付けて活動することで取り組みを広げる。

オール新潟で使える、使いたくなる『デザイン』と『目標（フレーズ）』が重要

新潟への誇りと愛着を醸成する取り組み（案）を広げるために

使用イメージ

企業の採用活動に！

Uターン向け学生を対象に

インターンシップを募集！

(株)新潟〇〇〇〇〇〇

◆県外で過ごした経験を活かし、弊社と共に
にいがたに貢献できる皆さまを募集しています

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



18



地域のイベントに！



〇〇祭り

地域と創る
夏まつり

18



LINEグループの
画像にも！！



18



農産物・食品のPRに！



18



地域教育の推進に！

田植えから稲刈りまで
～家族で農業体験～

参加者募集！！

<春～秋まで全5回>

- ・3歳から参加可能です。
- ・家族で思い出づくりに！

☆時期によりさまざまな
体験ができます！

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



18



課題・検討事項

- 企業や団体にメリットとして感じてもらうためには（新潟に貢献しているとアピールできるなど）
- 取り組みを広げていくためには（大学等教育機関への働きかけなど）
- アイコンを作成するのみで終わらないためにはどうすれば良いか